

IPTVフォーラムの取り組み

Hybridcast

2014/02/03

1

放送とWebの連携

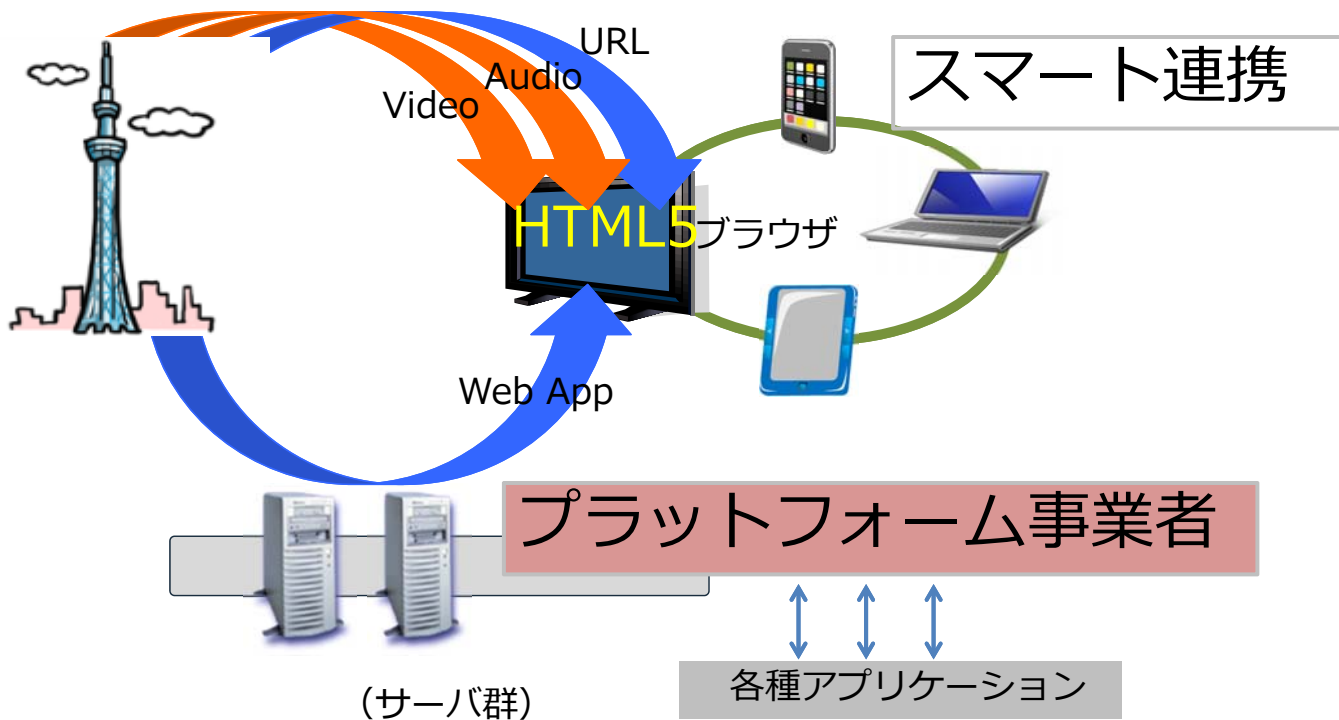
- テレビにHTML5ブラウザを実装して、携帯端末やPC等とアプリの共用を可能にする。
- IPTVフォーラム HTML5WGでは2013年3月のVer.1.0※リリースに続き、2014年春を目途にVer.2.0などの規格拡張をめざす。

※ 放送コンテンツとHTMLコンテンツの同時表示や携帯端末連携に関する基本仕様を規定。

2

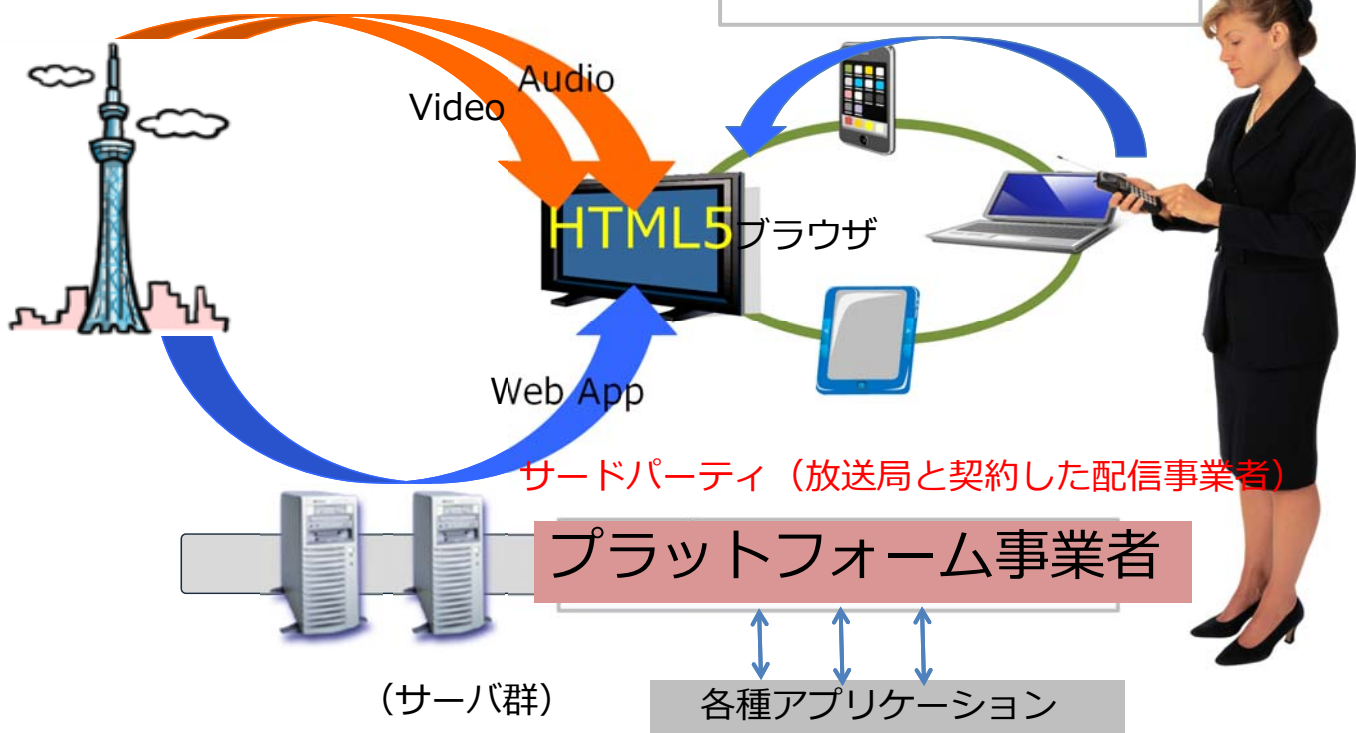
放送マネージドアプリ

アプリ制御信号



放送外マネージドアプリ

ユーザの操作



想定される※プラットフォーム事業者

※ サービスの責任主体として、アプリを管理、提供する事業者

(1) 放送事業者

次世代スマートテレビ推進センターに届け出て、多言語字幕を自らの事業として実施。

ハイブリッドキャストV1.0によるので、すでに実施可能である。

(2) サードパーティ（放送外マネージド）

放送事業者と契約し、放送のリソースと連動する許可を得て、次世代スマートテレビ推進センターに届け出る。

現在、策定中のV2.0が完成すれば、対応可能になる。

検討事項

■ セカンドスクリーン連携機能の拡充

- (i) テレビとセカンドスクリーン間の情報伝達の拡充
- (ii) リモコン機能の拡充
- (iii) テレビとセカンドスクリーン間のセキュリティの向上

■ 動画や字幕連携機能の拡充

- (i) 放送映像とストリーミング映像の同時表示における同期精度の向上
- (ii) 放送字幕データとHTMLアプリケーションの連携など

■ アプリケーション実行環境の拡充

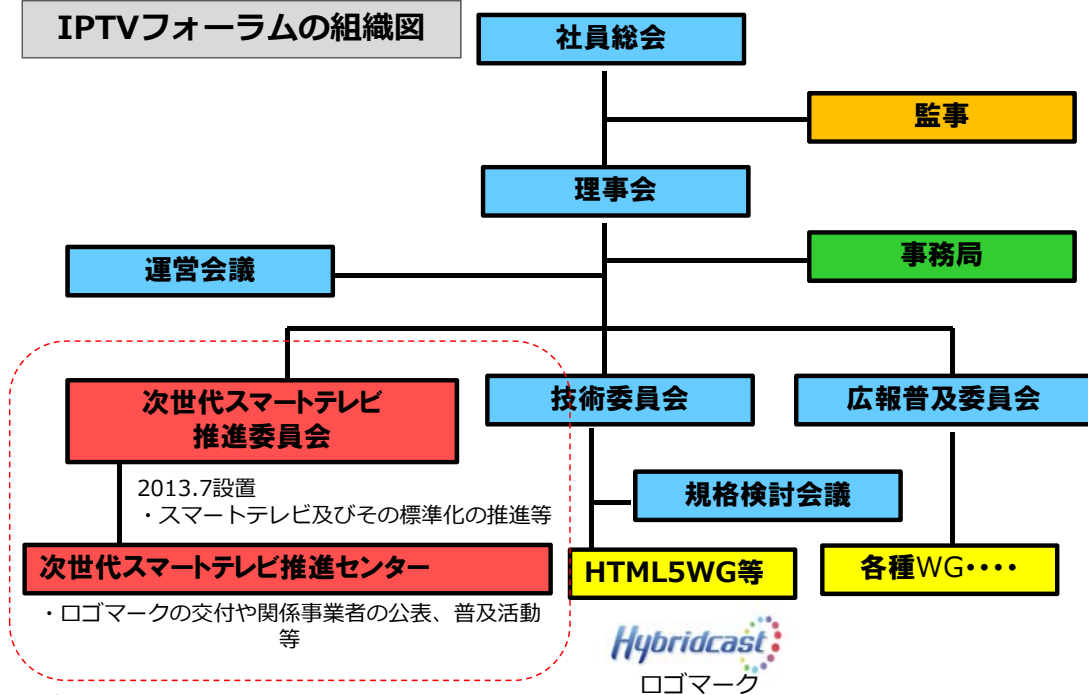
- (i) サードパーティがアプリケーションの管理・提供ができる
- (ii) アプリケーションの選択のメニュー機能
- (iii) 複数のアプリケーションの並列実行など
- (iv) 録画番組とアプリケーションの連携

外国字幕変換に関する留意事項としては、日本語から他言語への変換のタイムラグや変換精度など、別に解決が必要になると認識しています。

スマートテレビ推進に向けた取組

- ・スマートテレビの推進に向けて一般社団法人IPTVフォーラム(※)内に「次世代スマートテレビ推進委員会」及び「次世代スマートテレビ推進センター」を2013年7月に設置。

IPTVフォーラムの組織図



IPTVフォーラム構成員

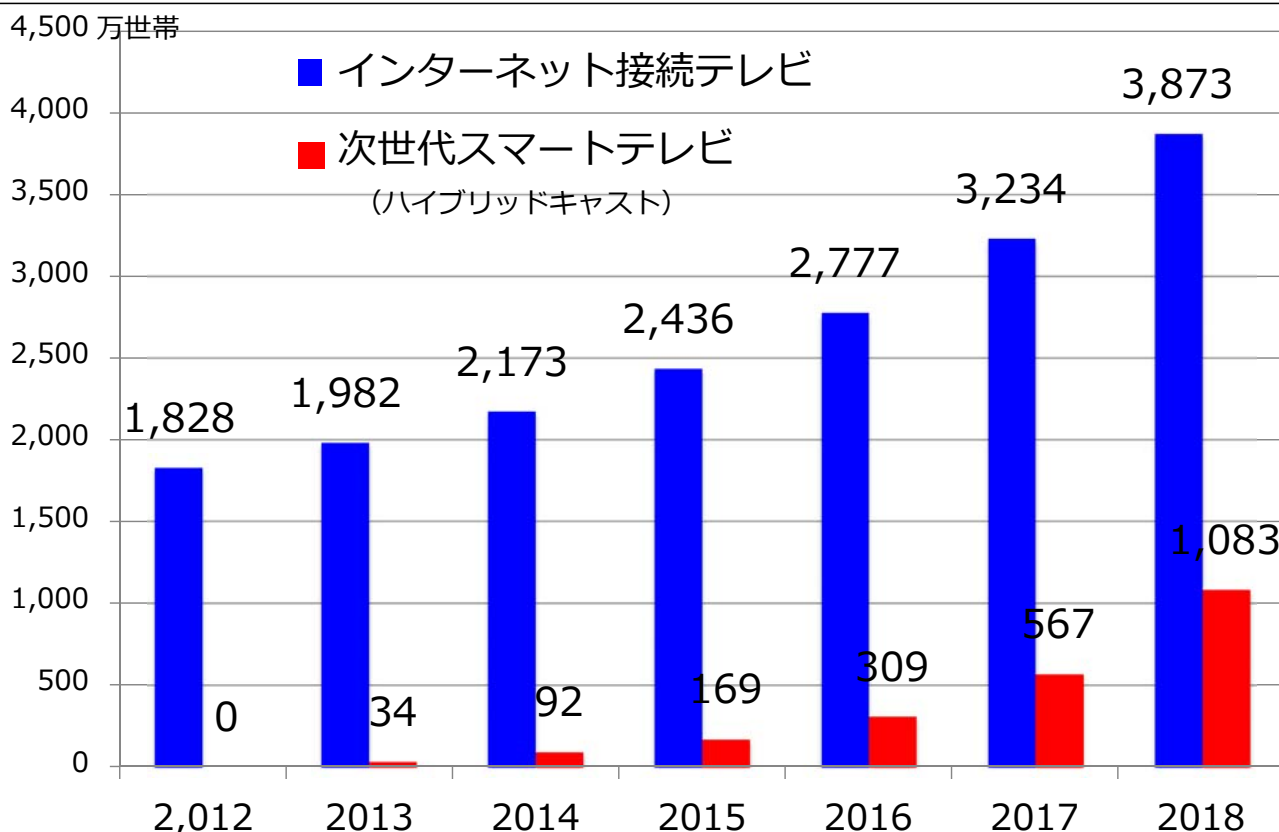
理事長	村井 純 慶應義塾大学・教授
理事の出身会社	日本放送協会、日本テレビ放送網、TBSテレビ、フジテレビジョン、テレビ朝日、テレビ東京、WOWOW、ソニー、東芝、パナソニック、シャープ、日立製作所、NTT、NTTぷらら、KDDI、ソフトバンクBB、トマデジ
会員数	社員70社、協賛会員10社

2013年12月現在

(※)「IPTVフォーラム」

通信事業者、家電メーカー、放送事業者などが参加し、IPTV技術に関する民間標準化団体として、2008年5月に設立。IPTVサービスやスマートテレビの発展に向けた技術の標準化や広報普及活動を行っている。

次世代スマートテレビ（ハイブリッドキャスト）端末の普及予測



出所)NRI「これから情報・通信市場で何が起ころのかITナビゲーター2014年版」